

## 第1回稲沢市観光基本計画策定委員会 会議録

【日 時】平成29年3月22日（水）午後2時～午後3時

【場 所】稲沢市役所本庁舎3階 議員総会室

【出席者】稲沢市観光基本計画策定委員会委員（敬称略）

大澤 健	和歌山大学経済学部教授
栗林芳彦	名古屋文理大学情報メディア学部情報メディア学科教授 ・地域連携センター長
河村 保	一般社団法人愛知県観光協会専務理事
古川正美	稲沢市観光協会事務局長
服部正見	稲沢商工会議所理事兼事務局長
山田 洋	祖父江町商工会事務局長
野村 修	平和町商工会事務局長
安藤之一	名古屋鉄道株式会社国府宮駅長
松田雅之	尾張大國霊神社権禰宜
林 和伸	善光寺東海別院副住職
塩治康人	国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所河川公園課長
渡邊宗徳	愛知県振興部観光局観光振興課長
岩間福幸	稲沢市経済環境部長

【事務局】

加藤錠司郎	市長
渡會竜二	経済環境部調整監
澤田雄一	商工観光課長
久留宮庸和	商工観光課主幹
大屋 将	商工観光課主任

### 【会議次第】

- 1 委嘱状交付
- 2 市長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 正副委員長の選出
- 5 協議事項
  - (1) 会議の運営方法について
  - (2) 第2次稲沢市観光基本計画の策定方針及び策定スケジュールについて
  - (3) 新委員の選任について
- 6 その他

## 【会議の概要】

### 1 委嘱状交付

[事務局]

定刻より少し前ですが、皆様お揃いですので、ただいまから稲沢市観光基本計画策定委員会を始めさせていただきます。本日はお忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。私は委員長が選出されますまでの間、この会議の進行を務めさせていただきます稲沢市経済環境部商工観光課長の澤田雄一です。よろしくお願いいたします。はじめに、委嘱状を交付させていただきます。委嘱状の交付は、市長からお一人ずつにお渡しをさせていただきます。市長が前にまいりましたら、恐れ入りますがご起立いただきますようお願いいたします。なお、市の職員については交付を省略させていただきますので、よろしくお願いいたします。

<市長から各委員へ委嘱状を交付>

[事務局]

ありがとうございました。次に加藤市長よりご挨拶申し上げます。

### 2 市長あいさつ

[市長]

皆様こんにちは。本日は大変お忙しい中、稲沢市観光基本計画策定委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、この度は第2次稲沢市観光基本計画の策定にあたり、本委員会を設置いたしましたところ、快く委員をお引き受けいただき、心より御礼申し上げます。

さて、観光を取り巻く状況は団体旅行から個人旅行へ、発地型観光から着地型観光への形態変化など、ここ数年で大きく変化をしております。日本を訪れる外国人旅行者数も昨年初めて2,000万人を突破し、年々増加傾向が続いています。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催や2027年のリニア中央新幹線の開通を見据え、日本の各地では外国人観光客を含む観光の推進に力を入れております。

また、愛知県では平成26年12月に「あいち観光元年」を宣言し、観光集客を新たな戦略産業と位置付け、現在、観光関連事業に全力で取り組んでおり、平成29年度から平成31年度において、国内で最大の観光キャンペーンであるJRグループのディスティネーションキャンペーンを核に愛知県大型観光キャンペーンを実施することとしております。

稲沢市ではこのたび、平成30年度からの10か年の計画である「第2次稲沢市観光基本計画」の策定に取り組んでまいりますが、策定にあたりましては、こうした国や県の動向や地域を取り巻く社会環境の変化を踏まえた将来の観光ビジョンを新たに描き、10年後の稲沢市がどのようなまちであるべきかをしっかりと見据え、観光振興施策の戦略的、計画的な推進を図っていきたくと考えております。自然・歴史・文化・産業・ヒトといった地域ならではの資源を活かしながら、地域の価値を高めていく「観光まちづくり」を関係団体、事業者、観光ボランティアの皆さんをはじめ、地域で活躍される様々な方々との協働により進めていきたくと考えておりますので、委員の皆様におかれましては、ご支援とご協力を賜りますよう、お願いを申し上げまして、私のあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### 3 自己紹介

[事務局]

ありがとうございました。本日は委員を委嘱させていただいてから、初めて開催する会議でありますので、恐れ入りますが、皆様に自己紹介をお願いしたいと存じます。大変恐縮ですが、お手元の「稲沢市観光基本計画策定委員会委員名簿」に従い、大澤 健様から順に自己紹介をお願いしたいと存じます。

<名簿掲載順に自己紹介>

[事務局]

ありがとうございました。なお、遠藤委員につきましては、他の用務のため、本日の会議を欠席させていただいておりますことをご報告いたします。

続いて事務局側の自己紹介をさせていただきます。

<事務局の自己紹介>

[事務局]

なお、この度の観光基本計画の策定にあたり、業務支援をいただいております株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所様につきましても、事務局の補助として委員会への出席をお許しいただきたいと存じますので、よろしく願いいたします。

<株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所の自己紹介>

### 4 正副委員長の選出

[事務局]

続きまして、委員長、副委員長の選任につきまして、お願いをさせていただきます。選任については「稲沢市観光基本計画策定委員会設置要綱」第6条第1項の規定により、委員の互選となっております。どなたか推薦をお願いいたします。

[委員]

私の方から僭越ではございますが、推薦させていただきたいと思えます。

委員長には、愛知県を含め全国各地で観光まちづくりに携わっておられる大澤 健委員を推薦申し上げます。また、副委員長には稲沢市の観光振興の中心としてご活躍いただいております、稲沢市観光協会事務局長の古川正美委員をお願いしたいと考えます。

[事務局]

ありがとうございました。ただいま、和歌山大学経済学部教授の大澤 健委員を委員長に、稲沢市観光協会事務局長の古川正美委員を副委員長にとの発言がございました。

お諮りをいたします。委員長については大澤 健委員に、副委員長については古川正美委員をお願いしてもよろしいでしょうか。

<「異議無し」の声>

[事務局]

異議も無いようですので、委員長については大澤 健委員が、副委員長については古川正美委員が選任されました。恐れ入りますが、大澤委員長、古川副委員長におかれましては、正面にありますが委員長席、副委員長席へのご移動をお願いします。

<委員長、副委員長は、各席へ移動>

[事務局]

それでは、大澤委員長、古川副委員長から就任のご挨拶をいただきたいと思います。

[委員長]

改めまして、皆様こんにちは。和歌山大学の大澤と申します。この度は委員長に選任いただきありがとうございます。誠に僭越ではございますが、委員長として会議を進めさせていただきます。なぜ和歌山大学教授がここで委員長をするのかですが、先ほど服部委員からも軽く触れていただいたように、私は長年、愛知県の事業に携わってきました。県の観光振興課をはじめ県庁の方々には大変お世話になり、現在も県内全域で観光の仕事をしております。その関係で名古屋に家を買えと言われるくらい、愛知県に通っております。毎週来ていると感じるほど愛知県の観光に入れ込んでいます。なぜかと言うと、私は全国で観光の仕事をしておりますが、おそらく今の着地型、体験型といわれる観光において愛知県ほど可能性があるところはないだろうと考えています。「2027年のリニア中央新幹線の開業までに愛知県を日本一の観光県にします。」と裏で言い続けて仕事をさせていただいております。愛知県の方は奥ゆかしいのか、このことを誰も信じてくれませんでしたし、誰もその気にならなかったのですが、ここ数年で少しずつ変化が生まれ、そういう雰囲気が出てきたことを大変うれしく思います。そんな中で今回、稲沢市から声をかけていただき、この計画づくりに関わる機会をいただきました。稲沢市をもっともっと観光のまちとして、交流のまちとして、輝けるまちづくりが生き生きと行われているまちとして、スタートを切っていけるような計画づくりに取り組んでいきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

[副委員長]

副委員長を拝命いたしました稲沢市観光協会事務局長の古川正美でございます。先週末に名古屋市内のアピタ鳴海店で稲沢植木まつりのPRを兼ねた稲沢フェアが開催され、そこへ私も観光協会や植木の生産者、盆栽職人、祖父江町地区の方々などが出かけ、市内の様々な特産品の販売を行ってきました。多様なイベントが行われた中、物販で名古屋市民の方々に一番お買い求めいただいたのは銀杏でした。祖父江町商工会関係の生産者の方が出店をされ、銀杏を販売したの

ですが、土日両日とも完売となり、「祖父江の銀杏」が持つブランド力を改めて感じさせられました。この観光基本計画の策定でも稲沢市内のブランド力を有効に活用し、情報発信していければと強く思います。どうぞよろしくお願いいたします。

[事務局]

ありがとうございました。これより議事に移りますが、市長につきましては他の用務がありますので、ここで退席させていただきます。

<市長退席>

[事務局]

それでは、改めまして議事を進めてまいりたいと存じます。

本日の協議事項につきましては3点ございます。(1) 会議の運営方法について、(2) 第2次稲沢市観光基本計画の策定方針及び策定スケジュールについて、(3) 新委員の選任について、でございます。なお、レジユメの下段に記載いたしましたとおり、この会議終了後の午後3時15分から大澤委員長による基調講演を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、会議の進行につきましては、要綱第7条第3項の規定により委員長が務めることになっておりますので、以降の会議の取り回しにつきましては大澤委員長にお願いいたします。

## 5 協議事項

### (1) 会議の運営方法について

[委員長]

これより議事に入りたいと思います。

最初に協議事項(1) 会議の運営方法について、事務局より説明をお願いします。

= [事務局] =

【資料1「稲沢市観光基本計画策定委員会設置要綱」及び資料2「稲沢市観光基本計画策定委員会の運営に関する確認事項」について説明】

[委員長]

事務局からの説明が終了しました。ご意見、ご質問等がある方は挙手をされまして、指名後にご発言いただきますようお願いいたします。

[委員]

資料2の「会議の公開」についてですが、傍聴者を10名に限った理由は何でしょうか。

[事務局]

本日のような広い会場であれば、傍聴席が十分確保できるため、10名以上を定員とすることも可能ですが、会場の都合により傍聴席が十分確保できない場合も今後想定されるため、原則10名

とさせていただいたものです。いずれの場合においても、傍聴希望者が10名を超えたからといって即入場を拒む事ことはせず、臨機応変に対応していきたいと考えています。

[委員]

この会議での議論を多くの方に聞いていただきたいので、「10名」と限定せず、「10名程度」又は「10名ないしそれ以上」という曖昧な表現にしておくのはどうでしょうか。

[事務局]

「10名程度」と修正させていただきますので、よろしくお願いたします。

[委員長]

他に質問等もないようですので、委員の皆様にお諮りいたします。

次回以降の会議の運営方法について、先ほどの一部修正も含んだ上で事務局案どおり進めていくことでよろしいでしょうか。

<「異議無し」の声>

[委員長]

ご異議も無いようですので、次回以降の会議は、先ほど事務局から説明があった運営方法に基づいて進めさせていただきます。

## (2) 第2次稲沢市観光基本計画の策定方針及び策定スケジュールについて

[委員長]

次の協議事項に移ります。協議事項(2)第2次稲沢市観光基本計画の策定方針及び策定スケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

= [事務局] =

【資料3「第2次稲沢市観光基本計画策定の基本方針」、資料4「第2次稲沢市観光基本計画策定組織について」及び資料5「第2次稲沢市観光基本計画策定スケジュール」について説明】

[委員長]

事務局からの説明が終わりました。ご意見ご質問のある方は挙手の上、指名されてからご発言願います。いかがでしょうか。

[委員]

1点お聞きします。あいち観光元年は2015年で良かったでしょうか。

[委員]

2014年12月に、「2015年を『あいち観光元年』とする」宣言を出したものです。

[委員]

記憶が曖昧だったので、確認させていただきました。

[委員]

策定の基本方針及び策定スケジュールについて異論はありませんが、次回以降議事を進めて行かれる上での一つのアドバイスとしてお聞きいただければと思います。

資料3の基本方針は非常によく勉強された方が書かれていることが分かります。ただし、「2 稲沢市の現状と課題」は細かく項目が多すぎるので、優劣を付けながら、「必ず行うもの」、「可能であれば行うもの」というような整理も念頭に置きながら議論を進めて行かれたらどうでしょうか。

[委員長]

ありがとうございました。優先順位はこの会議内で付けていくことになると思いますので、その点を念頭に置きながら課題を把握していきたいと思います。

[委員長]

他に質問等も無いようですので、委員の皆様にお諮りいたします。

第2次稲沢市観光基本計画の策定にあたり、先ほど事務局から説明があった策定方針及び策定スケジュールをベースとして以後作業を進めさせていただくことでよろしいでしょうか。

<「異議無し」の声>

[委員長]

ご異議も無いようなので、以後の策定作業は先ほど事務局から説明があった策定方針及び策定スケジュールをベースとして進めていくこととします。

### (3) 新委員の選任について

[委員長]

次の協議事項に移ります。協議事項(3)新委員の選任について、事務局から説明をお願いします。

= [事務局] =

【資料6「稲沢市観光基本計画策定委員会・新委員の選任について(提案)」について説明】

[委員長]

事務局からの説明が終わりました。新委員を基調講演終了後にご推薦いただくという話ですが、私から少し補足をさせていただきます。観光基本計画は行政計画の中では非常に難しい計画です。私もいろいろなところで計画づくりに参画してきましたが、ほとんどのケースは絵に描いた餅にしかありません。きれいなことは書いてありますが、全く実行性がないという特徴があります。

なぜかと言うと、福祉、教育、道路建設というものは行政で完結させられます。行政が計画を作って、行政が自ら行うことができます。しかし、観光は行政だけでは完結しない分野です。いくら行政が計画を作っても、「誰がどのように行うか」という段階で行政だけではできず、頓挫するパターンがほとんどです。観光はビジネスであり、ビジネスの計画を行政が作ることは本来あり得ませんが、まちづくりやシティプロモーションの要素が入るため、行政が計画を作って行わねばなりません。その時に実際のプレーヤーをどれだけ巻き込めるかが鍵になります。実際に動いてくれる方々をどれだけ巻き込んで協働作業を行っていただけるかが計画づくりで非常に大事な段階となります。観光基本計画は「何をするか」よりも、「誰がどのように行うのか」を書くことが一番のポイントです。

事務局の提案は、実際にプレーヤーになってくれそうな人、又はプレーヤーを大勢連れてきてくれそうな人を巻き込んでいくために、新任の委員の方々を選ぶ余地を残しておいたという趣旨でよろしいでしょうか。

[事務局]

お見込みのとおりです。

[委員長]

参加委員を公募するという事ではないのですね。

[事務局]

公募よりも核になる人、稲沢市の観光振興の中心的役割を担っていただける人にまず参画していただき、その方々と共に計画づくりを進めながら輪を広げていくという順序で行いたいと思います。

[委員長]

観光基本計画づくりでは、そういう意味で人釣りの要素が非常に強く、どの人を釣ってくるかが勝負どころです。任せてみようと思われる方をぜひご推薦願います。

その他ご意見、ご質問等がある方はお願いします。

[委員]

基本計画づくりは専門家の集まりで議論されるのが自然ですが、観光となると行政サイドの議論だけでは十分とは言えません。観光は最終的に「一般市民を動かす。」ということを考えると、この会議に一般市民の視点が加わってもいいのではないかと考えます。一般市民を公募して議論に加わってもらうことも検討する余地があると考えます。

[委員長]

ただいまのご意見について、事務局はいかがでしょうか。



[事務局]

ありがとうございます。一般市民の視点については、アンケート、ヒアリング、パブリックコメント等を通じて意見集約を行い、計画に反映していきたいと考えます。

ご意見をいただいた市民公募についてですが、スタート段階ではキーマンとなる方々の参画を優先し、キーマン同士をつなげていく過程を大切にしたいと考えます。現段階で公募の考えはございませんが、今後の可能性として一般公募を否定するものではありません。

[委員長]

公募は良し悪しで、プレーヤーが来てくれることもあります。中には行政に物を言いたいだけの人に来て、混乱を招く場合もあります。委員の皆様からご推薦がいただけるという前提のもと、今回の選任をキッカケに広くプレーヤーを巻き込んでいければと思います。

[委員]

委員長の話の中で「プレーヤー」という言葉がありました。私共も寺を10数年前から観光事業として立ち上げている関係上、非常に懇意にお手伝いいただいた方がいらっしゃいます。そうした方をご推薦できればと思います。

[委員長]

ぜひお願いします。

[委員長]

他に質問も無いようですので、委員の皆様にお諮りいたします。先ほど事務局から提案があった新委員の選任について、当委員会として新たな委員を加えることを承諾してよろしいでしょうか。また、選任の方法について、当委員会として事務局から提案があった方法により事務を進めていくこととしてよろしいでしょうか。

<「異議無し」の声>

[委員長]

ご異議も無いようなので、事務局は提案どおり選任事務を進めていただくようお願いします。

また、商工会議所、商工会、市観光協会の委員の皆様におかれましては、人選にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

## 6 その他

[委員長]

以上をもちまして、本日予定しておりました協議事項は全て終了しました。慎重審議いただき、誠にありがとうございました。その他、事務局から何かあればお願いします。

[事務局]

ありがとうございました。今後は先ほどご説明した策定スケジュールに従い、現状と課題の分析、アンケート調査や関係者ヒアリングの実施、アクションプラン検討会議の立ち上げ等を進め、その進捗状況や実施結果を順次ご報告いたします。これらを踏まえ、計画総論、各論へと審議検討を進めてまいりたいと考えますので、引き続きご支援、ご協力並びに忌憚のないご意見、ご提案を賜りますようお願いいたします。

なお、次回の会議は4月26日（水）の午前10時から、会場は本日と同じ議員総会室で、内容は「稲沢市観光における現状と課題の分析報告」、「今後の調査内容の確認」を中心に進めてまいりたいと思います。

また、第3回の会議は7月5日（水）の午後1時30分から、会場はこの庁舎2階の政策審議室で開催いたします。詳細は後日文書にて改めてご案内させていただきます。

4回目以降の開催日程も調整でき次第、お示ししたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして会議を閉会いたします。慎重審議いただき誠にありがとうございました。

以上